

ご寄付をお寄せくださったみなさまへ

2011年9月30日

暑かった夏もようやく終わったかと思う間もなく台風15号が、日本列島を駆け抜けました。台風の被害に遭われたみなさまには心よりお見舞い申し上げます。

さて、このたびは、市民放射能測定所支援にご協力くださり感謝申し上げます。みなさまのおかげにより、活動をはじめて3か月弱で、次の支援をすることができました。

*食品放射能検査器 1台 255万円

ドイツ製 BERTHOLD TECHNOLOGIES 社

ベクレル・モニター LB2045 ヨウ化ナトリウム・シンチレータ

*食品放射能検査器 1・5台分に相当する196万円

ベラルーシ製 ATOMTEX 社

GAMMA RADIOACTIVITY MONITORS AT1320

*ホールボディカウンター 0・5台分に相当する300万円

ベラルーシ製 (ATOMTEX 社)

◇「NHKスペシャル」の番組で紹介されていたものと同型

7月17日に、福島市内に正式に開所した市民放射能測定所には、毎日多くの市民が測定してほしい食材を手に訪れています。これまでに「DAYS放射能測定器支援募金」と合わせて5台分の測定器の購入費用とホールボディカウンター1台分を支援することができました。

今後さらに、福島県内各地に測定器が設置できるよう充実させていきます。さらなるご支援を賜れましたら幸いです。

※なおこれから食品測定器を購入されようと考えておられる方をお願いします。私たちが支援している測定器が必ずしもベストというわけではない可能性や、使用していてわかってくる問題もある可能性がありますので、これまでその機器を使用されてきた団体に問い合わせされたうえ独自にご検討され、ご決定くださるようお願いいたします。

未来の福島子ども基金 世話人一同

.....

皆様、多大なるご支援有り難うございます。お蔭様で、期待以上に募金が集まり、予定以上の支援をすることが出来ました。これで、今汚染され、私たちは避難を望んでいますが、社会経済的な事情で避難できない子どもたちを少しでも、被曝の8割を占めると言われる飲食物による内部被曝を減らせることを願っています。ドイツやオーストリアでの測定器の台数に比べたら少なく、各地に設置できるようになるまでには時間がかかります。今後も周りの人々に呼びかけて少しずつでよいですから、福島の子どもたちへの支援をお願いします。ご支援いただいた皆様のところに打たれ、非常に感謝しております。

本当にありがとうございました。

未来の福島子ども基金代表・小児科医

黒部信一

【会計報告】

2011年6月1日～2011年8月31日

収入		支出	
会費		測定器送金	
維持会員(98名)	980,000	7月12日	2,550,000
一般会員(131名)	393,000	7月20日	1,960,000
学生会員(2名)	4,000	7月29日	3,000,000
		送金合計	7,510,000
募金(320名・会員との重複あり)	9,208,185		
その他(本代)	2,600	経費	
		印刷費	95,138
		送料	11,010
		通信費	15,550
		その他	4,000
		経費合計	125,698
		残高	
		郵貯銀行	2,827,215
		現金	124,872
収入合計	10,587,785	支出合計	10,587,785

大口寄付者

300万円	1名
140万円	1名
50万円以上	1名
30万円以上	1名・1団体
20万円以上	2名
10万円以上	3名

印刷費

カラー	10,000枚
一色	20,000枚
* ロゴ印刷 他コピー費含む	

市民放射能測定所CRMSより

東京電力福島第一原発事故から4か月目の7月に市民放射能測定所は立ち上がりました。「未来の福島こども基金」と「DAYS 放射能測定器支援募金」からいち早く食品測定器をご寄贈いただき、福島市において食品計測の活動を始めることが出来ました。

それまでは誰も食品の放射能汚染度を測った経験など全くありませんでした。簡易測定器での計測には、食品を持ち込んだ人に必ず立ち会っていただきました。計測時間は20分です。その間に「食べ物が放射能で汚染されるということはどういうことなのか?」「食の安全基準というものはどういうものなのか?」など話します。一緒になって考える、いろいろと話すということが「市民による測定」の重要な部分なのではないかと思っています。「怖い、怖い」と漠然とした不安を抱くのではなく、自分で自分の畑で採れたものや食べるものを測ることで、放射能汚染について考え、そして我が身を守る意識が芽生えてゆきます。市民による測定というものはSelf Defense 自衛の第一歩だと思うのです。

食品測定器は、放射能汚染からどうやって子ども達を守っていくのか…と手探りしていた暗闇にともされた灯かりです。その灯かりを最初に届けてくださった広河隆一さん

はじめご支援下さっている皆さまに心から御礼申し上げます。さらに詳しい各種が測れる上位機種 of 食品測定器とホールボディカウンターをご寄贈頂きました。一人でも多くの子ども達を守るために、未来を守るために、これらの測定器は皆さんからお預かりしたものです。その責任を感じながら福島での測定活動に励んで参ります。

(市民放射能測定所 理事長 丸森あやこ)

DAYS JAPAN 10月号より

広がる市民放射能測定所

市民放射能測定所事務局長 長谷川 浩

福島市に「市民放射能測定所 (Cityzen's Radioactivity Measuring Station, CRMS)」が立ち上がった。これまで、ペクレルモニター (ベルトロード社 [R200] と呼ばれる食品中のガンマ線簡易測定器2台のうち1台はDAYS・JAPAN寄贈を使って、食品測定を実施してきた。6月17日より8月末までに250点を超える測定を行い、7月20日からはホームページ (<http://www.crms-jpn.com>) での測定依頼受付と測定結果の情報公開を開始した。多くは地元から持ち込まれた野菜であり、行政による放射能測定から漏れた人々の要望をカバーすることができた。測定料金はいただけないが、カンパで運営 (測定や印刷にともなう消耗品の補充) に協力いただいている。福島県外からもCRMSに関するメールによる問い合わせが毎日のようにある。CRMSは単なる分析機関ではない。放射能防護に関わる正しい情報の提供、こども健康相談会を中心としたイベントの開催、そしてなにより放射能汚染を不安に思っている市民の情報交換の場としての機能を果たしてこそ、市民の測定所たり得る。

福島市で始まったCRMSは、県内

に広がりを見せている。郡山市「にんじん舎の会」はホームページで分析依頼受付を開始した。二本松市田東和町では農家の団体「ゆうきの里東和」が主体となり、地元農家を対象にペクレルモニターによる食品測定を開始した。9月1日には「DAYS放射能測定器支援募金」および「未来の福島こども基金」から寄贈いただいた食品測定機 (ATOMTEX社AT1320A) 3台、ホールボディカウンター (同社AT1316) 1台がベラルーシより届いた。AT1320Aはヨウ素131、セシウム134、セシウム137、カリウム40の4核種のガンマ線測定ができる。AT1316は人体中のセシウム137、カリウム40の2核種のガンマ線測定ができる。10月からは、これらを使った測定を福島県内で開始したい。

さらに、直接の連携はないが、CRMSと同様の動きは福島県二本松市、須賀川市、栃木県那須地方で始まっている。宮城県南部でも立ち上げの準備を進めている。これらの動きが広がることで、市民目線の放射線防護が福島県はもちろん全国各地に広がることを期待している。



上: 食品測定器の使い方の説明を受けるスタッフ。福島市。2011年9月7日
Photo by Yukari KATOH



右: ホールボディカウンターを設置して使い方の説明を受けるスタッフ。福島市。11年9月7日
Photo by Yukari KATOH

未来の福島子ども基金

<http://fukushimachildrensfund.org/>

代表 黒部信一

TEL 090-3539-7611 FAX 048-470-1502

メールアドレス: fromchern0311@yahoo.co.jp



募金口座 郵便振替 00190-0-496774

口座名称 チェルノブイリから日本を考える会

他の金融機関からゆうちょ銀行へお振込の場合

店名(店番) / 〇一九(ゼロイチキュウ)店

預金種目 / 当座

口座番号 / 0496774

米ドル (USD) の外貨普通口座

銀行名 (BENEFICIARY'S BANK/ACCOUNTBANK)

: THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ,LTD

支店名 (BENEFICIARY'S BRANCH)

: KAGURAZAKA BRANCH

スイフト(SWIFT/BIC)

: BOTKJPJT

口座名 (ACCOUNT NAME)

: 未来の福島子ども基金 (Fukushima Children's Fund)

口座番号 (ACCOUNT NUMBER)

店番: 052

口座番号: 0052600

1、本会の名称:「未来の福島子ども基金」

2、目的:福島原発震災に遭った被災者を支援するため、情宣・募金活動を行う

3、会費:3000円、学生会員2000円、維持会員1万円の年会費を納入する*

4、役員:代表1名、若干名の世話人をおく。世話人の中から会計、監査を選任する

5、会員はそれぞれ可能な範囲で創意工夫して自由な支援活動を行う

6、本会は印刷物、メール、ネット、等の媒体を通じて適宜活動報告を行う

7、毎年1回、総会を開き、事業および会計について報告する

8、事務局:353-0006 埼玉県志木市館2-3-4-409 向井方

〈問合せ〉Tel:090-3539-7611 Mail:fromchern0311@yahoo.co.jp

9、活動開始:2011年6月1日より(会計年度6月1日より翌年5月31日まで)

*会費には寄付金も含まれる

※経費は募金額の1割以内をめどとする

※未来の福島子ども基金の名前では郵便振替口座開設の許可がおりず(震災以降、類似団体名が多く申請されたため)やむなく違う名前になっています。ご理解ください。